

第2回目の「中長期計画策定合宿」開催

法人の将来像について話し合う 理事長報告

3月18日(土) 於:なにわの宮

今回の策定合宿は、前回の結果を踏まえた2回目のものです。

参加者は、各事業所の主任クラス総勢22名でした。策定合宿と言っても泊まり込んでいるわけではありません。

策定合宿では、前回のSWOT分析の結果を踏まえて、今の法人の強み、弱み、外部環境の変化を考察し、何を大切に、何を変えて行くのかを検討しました。

より多くの職員で考えることが重要

検討の内容もさることながら、より多くの職員が、自分たちの法人をどうしていきたいかを考えるところに意義があります。中長期計画としての文書を作るだけなら、誰かが考えれば、形はできあがります。ただ、それが各事業所の指針や年次の実行計画になっていくためには、多くの職員の意見で作られる必要があります。

集団は、心を持つか？

皆さんは、「集団は、心を持つか？」と質問されたらどう答えますか？色々な組織やグループの集団があります。代表的な集団としては、国、企業、政党、宗教団体、学校、病院、野球チームなどなどです。具体的には、「どこどこの団体は、〇〇しようとしている」というようなことが言えるか？ということです。

仮に「集団が心を持つ」とした場合、「今我々の法人は、変わろうとしている」と言えるでしょうか？

昨年の中頃と同じ問いかけられたら、答えは、「No」でしたが、現時点でのこの質問の答えは「Yes」と答えることができます。

これは、昨年からの大きな変化です。おそらく策定合宿に参加された職員さんの皆さんは、そんな印象を持たれたのではないかと考えています。法人には、240名近くの職員さんがおられます。法人全体が「今我々の法人は、変わろうとしている」と答え

られるようになるには、さらにこのような論議を広げていく作業が必要だと考えています。

策定合宿では、今回「宿題」が出されました。各事業所で、自分たちの事業所は、どうしていくのか？を話し合います。難しい課題ですが、計画を実行性のあるものにするために、欠かせない作業ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

五代目 Tシャツ

話合いの中で、法人のブランドグッズを作っては、どうか？との意見がありました。私の考案した「5代目Tシャツ」は、いかかでしょうか？バックプリントは、もちろん「職場は、利用者・職員の笑顔であふれている」です。









